

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

| | |
|--------|-------------------|
| 団体名 | NPO 法人ふくおか湿地保全研究会 |
| 活動タイトル | 豊かな自然を次世代に残そう！ |
| 活動地域 | 博多湾海域・中津干潟 |



鳥類調査（ほぼ毎日）

【活動の目的・目標】

- ① 正確で密な調査を本に、野生生物の保全に努める
- ② 地域や行政の方に、身近な生きものについて知っていただき、保全への関心を持って頂く
- ③ 高度成長期に失われた生きもの達の生息環境の再生に努め、子ども達が再び感動を体験できるよう活動していく



河口域を定例清掃（毎月第4日曜日）

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

コロナ下でも調査や清掃は継続できていたが、観察会や環境イベント等は通常のように行えなかったため、今年度の再開に当たり、関係機関との協議や資材等の準備が大変だった。



絶滅危惧鳥類コアジサシの保全イベント（5/28）

【活動の内容・成果】

開催回数：定例清掃6回・保全イベント2回
参加人数：清掃 約60人・イベント 約60人
達成率：100%

清掃活動や保全イベントを通じて、生物多様性やゴミ問題などについての課題を、子ども達も含めを多くの方に知っていただくことができました。

【団体概要】 2003年、福岡市周辺の「豊かな自然を次世代に継承する」ことを目的として設立。2010年2月NPO法人認証。「野生生物などの正確で密な調査」を活動の基本とし、調査によって得られたデータを基に、野生生物の保全活動を継続。保全活動は地域や行政と共に行い、保全が必要な場所の定期的な清掃や自然観察会・講演会開催、啓発看板の設置などを行っている。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



毎月第4日曜日、福岡市東区多々良川の河口域を清掃。

鳥類、魚類、カニ、塩生植物など、絶滅危惧種を含む多くの生きものが生息している場所で、当会の活動継続により国設鳥獣保護区に指定されている。

近隣の方達だけでなく上流域の方達の参加もある。



5/28

絶滅危惧鳥類コアジサシの保全のため、国営「海の中道海浜公園」と共催で行っている。コアジサシを安全な場所に誘致するため、デコイ（樹脂の模型）に彩色して、砂浜に設置。



5/28

上記デコイを公園内の砂浜を清掃後、設置。繁殖したら観察会を開催する予定だったが、今年度も繁殖成功せず。



8/2

休耕田を利用したビオトープでの水生生物観察会。